



表紙 手形とれたかな

いつも健康でいたい——。自分の健康をみつめなおす第6回健康まつりが6月17日、日向市文化交流センターで開催されました。会場にはかかりつけ医相談、介護相談、手作りおやつを紹介などのコーナーがありました。中でも幼児の記念手形をつくるコーナーが大人気。多くの親子連れが列をつくっていました。きれいに手形、とれたかな。

■特集 「家庭の日」の意義を見直してみませんか

■市政の動き

第19回参議院議員通常選挙、第23回JAL杯世界アマチュア囲碁選手権戦宮崎大会、第14回日向はまぐり碁まつり、小・中学校囲碁大会、530フリーマーケット、第9期生ひまわり塾が開講ほか

■まちの話題

アップルマンゴーを贈呈、ソフトボール全国大会出場報告ほか

■インフォメーション

身体障害者雇用継続助成金、介護保険新規事業ほか

特集 「家庭の日」の意義を見直してみませんか



写真は文章とは直接関係ありません

みなさんは毎月第3日曜日は「家庭の日」ということを、ご存じですか？
 「家庭の日」が生まれたのは、昭和30年代後半から40年代にかけて青少年の問題行動が急増し、大きな社会問題になったことからです。この「家庭の日」運動は、昭和41年の青少年育成国民会議の発足とともに全国に広がり、宮崎県でも「健全な家庭づくり運動」の一つとして「家庭の日」「共感運動」の強化・推進が行われています。「家庭の日」は毎月第3日曜日と定められていて、昭和52年に県条例で制度化されています。「家庭の日」は、今月は、みなさんに「家庭の日」を紹介し、家庭教育について考えます。

●未来を担う子どもたちの健全育成のために「家庭の日」を見直そう

家庭は人間が生まれ育てられる基礎的な生活の場です。また、家庭は社会を形成する基礎的な単位であり、家族が愛情と信頼の絆で結ばれ、すこやかな家庭生活が営まれることが、社会全体にとって、大切なことです。

しかし、私たちの毎日の暮らしの中で、家族のあたたかいふれあいが少なくなってきたのでは、ないでしょうか。大人たちは仕事の忙しさに追われ、子どもたちも勉強などに追われているというのが現代の平均的家庭の姿のようです。

このような中で、せめて月に一度くらいは家族があたたかくふれあう機会を持ちたいという思いから提唱されたのが、この「家庭の日」なのです。

もちろん「家庭の日」は国や県など行政がつくりあげていくものではありません。みなさんが自ら

の手で、あなたの家庭にふさわしい独自の「家庭の日」をつくりあげることが大事です。
 ときには家族みんなが、同じ時間や体験を共有し、共感しあえることが大切ではないでしょうか。

●情報紙を発行しています

市では、子どものための遊びと学びの情報紙として、日向市子どもセンター日より「みらくるキッズ」を発行しています。季節ごとの体験活動情報などを掲載していますので、ご家族でご活用ください。お問い合わせは、日向市子どもセンター（市社会教育課内）内線2423へ。

●家庭教育学級に参加しましょう

家庭教育支援の事業として、家庭教育学級の開設を奨励しています。家庭教育学級は、各幼稚園、小学校、中学校を単位として、保護者が子どもの教育・養育について学び合い、お互いに交流しながら親としての資質を高め合うことを目的としている学習グループです。

今回は、平成12年度に家庭教育学級に参加していただいたお二人の方に家族への思い、子育てに対する思いを綴っていただいています。（4ページに掲載）

●来年から学校完全週5日制がじまります

家庭とは、社会を形成する基礎的な単位ですが、個々の家庭を支えていくのは地域社会であるとも言えるでしょう。特に、核家族化、少子高齢化の現代、地域とのかかわりの希薄化が指摘され、子どもたちが社会的人間として成長するために必要な人間関係や生活経験の幅を狭めています。

平成14年度から学校完全週5日制が施行され、子どもたちが家庭や地域ですごす時間が増えてくる

子どもたちのすこやかな成長を



状況のなかで、私たち親や大人は、地域のおじさん、おばさんとして、地域の子どもは地域で守り育てるという認識を持つて、子どもたちにかかわっていく必要があります。

●一人で悩まずに相談してください

そして、どうしても家庭で抱え込む事のできない青少年問題や悩みがある場合、市では教育相談室を設けて相談を受けています。一人で悩まずに、どうぞ日向市教育相談室（☎54-8181）か日向市青少年問題協議会（☎54-6255）に、お気軽にお問い合わせください。

日向市教育相談室の山崎守或さんと日向市青少年問題協議会の吉村康隆さんに家庭の日をテーマに寄稿していただきました。

家庭の日によせて

名作「二十四の瞳」で知られる作家壺井栄の作品「あしたの風」の物語の一場面をご紹介します。「夏子の母は、編物をして細々と生計を支え、子どもに『長ぐつほしいな』と言われても買ってもやれ

山崎

ないほど貧しい家庭でした。そんな中で、やつのことでも工面して買ってもらった長ぐつが、その日下駄箱から姿を消してしまつたのです。夏子は、下駄箱の裏から物置の中、雨にぬれながら運動場の草むらまでも捜しました。泣きながら立っている夏子に、心配して迎えにきた母は、肩に手をおき『運が悪かつたのよ。でもよくよしたつてどうなるの？』と励まして、もう一度同じ長ぐつを買ってくれました。それがどんなに容易なことではなかつたか知らない夏子ではありません。お金の心配をする夏子に、『夏子のそんな悲しい気持ちまで持ち越すなんていやでしょう。明日はあしたの風が吹く。』と力強く言つてのけたのです。

戦争で父親を亡くし、二人の子どもを抱えて、たとえ貧しくても力強く生きていく母親の姿を夏子はしっかりとみつめています。子どもたちは、物質的に豊かな家庭よりも愛情豊かな家庭を求めています。家庭の家庭を呼吸しながら、一人の人間として育っています。家族が本気で響きあう心の絆でしっかりと結ばれていること、これ以上の幸せがあるでしょうか。

（山崎 守或）

吉村

あなたの家庭では、家族みんなであたたかくふれあう機会を持っていますか
 「家庭の日」を意識して家族とのコミュニケーションが図られているでしょうか。現在「大人が変われば、子ども変わる」が県民の合言葉です。このことは、家族を抜きにしては考えられません。大人が、親が「手本」を示し、「対話」を深め、自分たちの住む町の「環境」を見直して改善を図ることが責務です。

私たちは、青少年の声に素直に耳を傾けているでしょうか。家庭にあって子ども一人ひとりの成長を家族全員で喜び合っているでしょうか。あたたかい家庭とは、「共遊」「共話」「共汗」「共働」「共食」の共感活動を行っている家庭から生まれるものです。

「家庭の日」がマンネリ化しているという声を聞きます。確かに、今は忙しく子どもたちとゆっくりふれあう機会を逸している家庭が多いのは事実です。しかし、「家庭の日」は私たち一人ひとりのものなのです。この家庭の日を大切に生かし実践することは、将来の日本の発展に結びつきます。

（吉村 康隆）

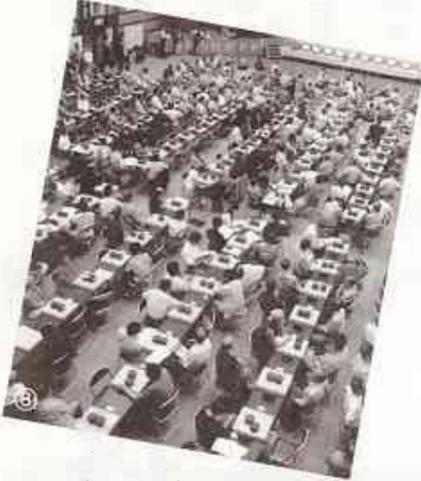
■広報紙に掲載された写真を差し上げます。希望する人は、市総務課(☎内線2234)まで。

「囲碁のオリンピック」にたとえられる、JAL杯世界アマチュア囲碁選手権戦が6月9日から14日までの6日間、世界の56か国の代表が参加し、日向市文化交流センターで開かれました。同時に、第14回日向はまぐり碁石まつりが9日、小・中学校囲碁大会が10日、同じく日向市文化交流センターで開かれ、はまぐり碁石のまち、日向市はまさに囲碁一色に。期間中は、国際親善対局、交流、各種イベントなどが行われました。日向市促進協議会ではインターネットで世界に向けて、対局情報を発信。世界アマチュア選手権戦は、中国代表の季 岱春(リ・ダイ・チュン)さんが優勝。日本代表の金沢盛栄さんが準優勝しました。

はまぐり碁石まつり・囲碁大会には、県内外から561人が参加。13の部門で競い合いました。選手権戦の部では今村敬二さん(熊本)が優勝。また、小・中学生囲碁大会は157人が参加。4部門を競い、19路盤小学生の部で橋本沙織さん(財光寺南小)が、中学生の部で三輪平くん(富島中)がそれぞれ優勝しました。

世界に向けて情報発信

第23回JAL杯世界アマチュア囲碁選手権戦宮崎大会・第14回日向はまぐり碁石まつり・平成13年度小・中学校囲碁大会(同時開催)



①国際親善対局「う〜む・・・」②小・中学校囲碁大会③歓迎セレモニーでの餅つき「よいしょ」④園田泰隆プロ棋士に1度に3人で挑戦中⑤小学生13路盤の部⑥地場産品を販売⑦世界アマチュア囲碁優勝者は、全勝した李岱春さん(中国代表)⑧碁石まつりで対局を待つ人たち

家族への思い、子育てに対する思い



古賀 弘徳さん、慶子さん(右端)、絢奈さん(9歳・中央) 舞奈さん(7歳・左)、稜也くん(3歳・右)

「たぬきの父さん」 古賀 弘徳さん (財光寺南小家庭教育学級)

たぬきの父さん、会社へ行く。
たぬきの子どもたちが起きる前、朝早く出かけて会社へ行く。
だから
たぬきの父さん、会社から帰るときは子どもの笑顔が楽しみ。
たぬきの父さん、お風呂に入る。
たぬきの子どもたちのバレーボールのコーチをしている。
でもバレーボールなんて、
お風呂で親子の会話を楽しんで、
体も心もぼっかばか。

ほんとはやったことない。アタック三回も失敗することだつてある。
それでもいつしうけんめいに、しんけんにやっているの。
たぬきの子どもたちもいつしうけんめいに、しんけんになる。
だから
たぬきの父さんはとてもうれしい。
たぬきの父さん、
パソコンをあつかう。
インターネットだつて、メールだつて、ホームページだつてやっている。
こればかりはだれにもじやまをさせない。
たまにはこんな時間もいいでしょう。
たぬきの父さん、
たぬきの母さんが大好き。
たぬきの母さんも
たぬきの父さんが大好き。
たまにはけんかするときもある。
でもけんかしたあとは、
けんかをするまえよりずっと仲良しになる。
だから家の中はいつもにこにこ。
たぬきの子どもたちは、
そんなたぬきの父さんが大好き。
そんなたぬきの父さんは、
こんなたぬきの家族が大好き。

「息子への思い」

寺原 由美さん (日知屋幼稚園家庭教育学級)

核家族、地域とのかかわりの減少、少子化、父親の長時間労働、リストラ、次々に起こる17歳の事件。子育てをとりまく社会環境は悪く、子育てが不安になる。子育てが産業化され、赤ちゃん時代から育て方をビデオで学びつつ親も子も成長するのも気になる。青年の事件がニュースになるたび、子育てをもっと長いスパンで考えなければ、と思う。幼児期は、生活リズムなど、人として生きる根っこが育つ時期。枝葉でなく、根っこを自由に伸ばす時期。思春期に、自分はどんな花をさかせようかと考えるまで、しっかりとゆっくり根を張ってほしい。父も母も、仲間を支えられ励まされて生きていくから、友達と遊ぶなかで、人とかかわる楽しさを充分感じてほしい。人を信頼でき、また信頼されることは、生きる大きな力となるから。
子育ても社会の在り方と大きくかかわっている。もつと安心して医療や教育を受けられる世の中にしていかなければいけないと思う。高齢者や子どもが暮らしやすい社会こそほんとうにすばらしい社会であると思う。母親だけの負担にならないよう、もつと開かれ



た子育て支援がほしい。父親も一緒に子育てを楽しめるよう、仕事も定時で終わるといいね。父親も子育ての喜びを味わってほしいし、そのなかで父親になっていくはず。幼い頃から子育てにかかわることで、思春期にはあなたの大きな支えになってほしい。私たちが父や母の背中を見て育つたように、あなたにも私たちの生き方を見せられる父や母でありたいと思っている。
あなたが生まれてきてよかった。母親になり、たくさんのことを感じ、考えられるようになった。本当に大切にしながら育つてほしいことを教えられた気がする。これからも同じ思いであなたを見守っていきます。
寺原 由美さん、昭光さん、宗一郎くん(5歳)

第19回参議院議員通常選挙

よく聞き、よく考えて投票しましょう

第19回参議院議員通常選挙は、7月12日に公示され、7月29日に投票が行われる見込みです。今回の選挙は、21世紀の国づくり・地域づくりに向けて、私たちの代表を国会に送る大事な選挙です。

私たち一人ひとりが、候補者の政見等をよく聞き、よく考えて、貴重な一票を投じましょう。



《投票と開票》

◇投票 7月29日(日)午前7時～午後8時

◇開票 投票日当日、午後9時10分から日向勤労青少年体育センターで。

《投票できる人》

◇年齢 昭和56年7月30日以前に生まれた人。

◇住所 本年4月1日以前から引き続き日向市に住んでおり、住民基本台帳に登録されている人。

《転入・転出等》

◇市内転入 本年4月12日以降に日向市に転入した人は、前住所地で投票することになります。

◇転出 本年3月28日以前に市外に転出した人は、日向市では投票できません。

◇市内転居 本年7月10日以降に市内転居し、住民票を異動した人は、前住所地の投票所で投票することになります。

《不在者投票》

投票日当日、仕事や旅行、病気などやむを得ない理由により投票所に行けない場合、不在者投票ができます。

◇投票場所 市選挙管理委員会事務局(市庁舎南別館1階)

◇期間 7月12日～28日(土・日曜日、祝日を含みます)

《投票の方法》

今回の選挙は、宮崎県選出議員選挙(選挙区)と比例代表選出議員選挙(比例代表)の二つです。

比例代表については、今回から投票の方法が変わります。

◇選挙区 候補者の名前を書いてください。

◇比例代表 政党等の候補者名簿に記載された候補者名または政党等の名称を書いてください。

《点字投票・代理投票》

目や身体が不自由で字が書けない人または文字が書けない人のために「点字投票」や「代理投票」の制度があります。

希望する人は、投票所でお申し出ください。

《投票所入場券》

投票所入場券は7月12日、各家庭へ送付する予定です。

《選挙公報の配布方法が変わります》

選挙公報は、これまで区を通じて各家庭に配布してきましたが、今回の選挙から、投票日の数日前の朝刊紙(朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・西日本新聞・宮崎日日新聞の5紙)に折り込み、各家庭にお届けすることにしました。

今回は、7月24日(火)の朝刊紙に折り込む予定です。

なお、以上の朝刊紙を購読されていない家庭につきましては、あらかじめご連絡していただければ郵送によりお届けしますので、早めにご連絡ください。

公報は市役所ロビーや支所にも備えておきます。

◇連絡・問い合わせ先 市選挙管理委員会事務局(市内線2452)

投票所・投票区が変更になりました

今回の選挙から投票所が4か所増えました。の投票所・投票区は、今回の選挙区から新設、または変更になったところ。投票日当日は、投票所入場券に記載された投票所名をご確認のうえ、お出かけください。



投票所一覧表

投票所一覧表の表



ラジオ体操に大集合!

ラジオやテレビでおなじみの、「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が市制施行50周年記念事業の一つとして開催されます。当日はNHKラジオで全国に放送されるほか、みんなの体操の指導者講習会や簡単なウォーキング講座も予定しています。



◇日時 7月28日(土) 午前5時50分集合

2001 第18回 ひよっこ夏祭り

前夜祭 8月3日(金) 午後6時00分～午後9時00分

市役所前広場 ひよっこ踊り講習会、橋ひよっこ踊り保存会オンステージ、ひよっこ総踊り、物産展

夏祭り 8月4日(土) 午前10時00分～午後9時45分

市役所前広場・中心市街地道路(上町、本町) 午前10時00分～午後4時30分「ひよっこな夏」フェスティバル

納涼花火大会 8月5日(日) 午後8:00～午後9:00

細島商業港 仕掛け、水中、連発スターマインなど5千発が夜空を飾る!



日本の水浴場88選に選定された伊勢ヶ浜
透明で美しい海です！



平成13年度選定「日本の水浴場88選」に伊勢ヶ浜が選ばれ、5月28日、認定書交付が全国都市センター会館（東京都）でありました。これは、環境省が水質の良好で快適な水浴場を広く普及することを目的に、全国で88か所の水浴場を選定したものです。①水質、自然環境・景観、②環境への配慮・取組、③安全性、④利便性、など特に優れたものが選ばれました。伊勢ヶ浜は、半月状をした美しい景観で、その透明度は宮崎県屈指といわれています。海開きは7月20日（海の日）の予定です。



自己紹介する塾生

平成13年度日向市21世紀まちづくりリーダー養成塾ひまわり塾
8月は「市長と語ろう！日向市のまちづくり」を予定

平成13年度日向市21世紀まちづくりリーダー養成塾ひまわり塾第9期生開講式が6月5日、中央公民館で開かれました。ひまわり塾は「まちの活性化」をテーマに毎月1回の定期講座、意見交換、視察などを行い、まちづくりリーダーを育てようとして開かれています。今年度の塾生は21人。前諸塚村長で現耳川広域森林組合長の甲斐重勝さんを塾長、市社会教育指導員の二見順雄さんを塾頭に迎えました。

山本市長が「8月は『市長と語ろう！日向市のまちづくり』を予定しており、とても楽しみです。がんばってほしい」とあいさつしました。

また、来賓の黒木敏雄市議会議長が、「地方の時代である。魅力あるまちづくりは魅力ある人づくりから」と話し、若いときに努力することの大切さを強調しました。

オリエンテーションでは、甲斐塾長が「皆さんの市を良くしていくこととする情熱に感心する」とあいさつしたあと、塾生の自己紹介。疋田浩之さんは「日向のまちのことを良く知らないもので、勉強するため参加しました」と、大原賢二さんは「日向市が都市化してきて、東京のようになるのがいやで、なんとかしたい」と参加の理由を述べました。

毎年、塾生レポートには「参加して良かった」と書いている塾生が多い。さらに、①日向市をいろいろな角度から見ることができた、②交流、仲間づくりができた、などの感想もあり、ひまわり塾は、まちづくりリーダーの養成に大きな成果を上げています。



認定証交付を受ける団体の代表

平成13年度ひまわり基金事業
まちづくりを助成します
まちづくり事業に対し、市が助成する平成13年度ひまわり基金事業の認定証交付式が6月5日、市長室で開かれ、次の10事業が認定証を交付されました。
◇第4回ドライブインシアター（日向市青年団連絡協議会）、21ふれあい納涼の夕べ（同実行委員会）、日向市地域婦人連絡協議会創立50周年記念事業（同協議会）、第9回にじいろ音楽会inひゅうが（日向・古澤廠の会）、イルミネーション点灯事業（上町商店街振興組合）、25周年第2回宮崎県子ども舞台芸術祭典（日向・門川おやこ劇場）、橋の写真展、写真教室開催（写真ひむか）、太鼓購入（細島東若太鼓台保存会）、むらおこしドラゴンコフェスティバル（奥野地区親子会）、和太鼓教室IN日向（日向十五夜太鼓）。

まだまだ使える物がいっぱい！

530フリーマーケットを開催



ほら、ペットボトルで作ったの

6月の環境月間に併せ5月27日、清掃行動と530（ごみゼロ）フリーマーケットが、市役所前広場で開かれました。市は5月30日から1週間を「ごみ減量・リサイクル週間」とし、啓発を行いました。清掃行動には、早朝から市民約250人が参加。5班に分かれて市清掃センターまでの約3キロの区間を清掃し、環境月間を呼びかけました。また、午前10時から開かれたフリーマーケットには、23団体が店を並べ、親子連れなどがお目当て

の品を探していました。古着や日用雑貨など、まだまだ使える品物がいっぱい、安い値段で並べられていました。出店した育児サークルもこもこ（佐藤由紀子代表）は、牛乳パックで作った椅子、ペットボトルで作った買い物かごなど、リサイクルした手作り商品を販売していました。佐藤代表は「毎年出店しているので3年目です。売り上げは活動資金にする予定」と話していました。「出店料金も他のフリーマーケットに比べて安いので、毎年市外からの参加も多かった。市民の運動にするため、今年は、市の広報やFMラジオ市政スポット（毎週水曜日のFM宮崎、朝8時台放送中）での募集だけにしたので、市内の人だけの出店。この規模だと、地味に見えるけれど、市街地で開催できるメリットがある。リサイクルでごみも減量できるし、ゆつくりだが市民の間に定着してきている」と実行委員会。今秋にも同様のフリーマーケットを開催する予定です。



お目当ての品を探す買い物客

また、市では資源回収事業優良地区への感謝状を5月28日、市内10地区に贈呈しました。感謝状を受けた地区は次のとおりです。◇永江区、長江区、比良区、庄手向区、地蔵区、高々谷区、中村区、笹野中区、別府区、駅通り区（順不同）

市長随想



山本孫春

九州南部地域が平年より6日遅れの6月4日、梅雨入りしました。梅雨に入るとおよそ1か月は、うつとしい天候が続きます。このことは、日常生活はもちろんのこと、農作物など、少なからず影響を受けることとなります。しかし世界各地では水不足が加速し、砂漠化が進み、世界の3分の1の人々が安全な水を手に入れることができていません。さらに、汚れた水が原因で年間400万人の子どもの命が、失われているという深刻な事態も発生しています。わが国は、年間平均降水量1800ミリと水資源に恵まれています。しかも、その20％が田畑を潤し、水資源を満たしてくれることを考えると、「うつつとしい」ではすまされません。人間は水なしでは生きていけないのです。この自然の摂理にむしる感謝しなければなりません。

3 チームが全国大会出場

全日本小学生男女ソフトボール選手権大会（滋賀県守山市、8月4日～7日開催）に出場する、高松スポーツ少年団（黒木和彦監督以下選手23人）、日本スポーツマスターズ2001宮崎大会ソフトボールの部（9月21日開催）に出場する日向アンクルズ（男子、中島克彦監督以下18人）と日向ママ（女子、中丸逸夫監督以下選手23人）の代表が、5月30日、市長室をそろって訪問し、全国大会への出場報告をしました。



全国大会出場を報告する3チームの代表

予選では、高松スポーツ少年団は5試合を勝ち抜き全国大会への切符を手に入れました。
黒木周平君（高松スポーツ少年団）は「チーム一丸となり、市と負けた他のチームのためにもがんばるの応援してください」と決意を述べました。
日向アンクルズと日向ママは男女そろっての日本スポーツマスターズ出場を果たしました。日向アンクルズの中島監督は「予選では準決勝、決勝と大勝した。大会に向け練習も重ねており、ぜひ決勝まで勝ち進んで優勝をねらいたい」と。一方、日向ママの中丸監督も「今のチームはかつて強豪だった、美々津中時代の選手が中心で強い、期待してほしい」と力強く話しました。山本市長は「本市から3チームもの全国大会出場は、とても喜ばしい限り。郷土の名誉のためがんばってほしい」と激励しました。市民のみなさんの応援を願います。

日向木挽唄全国大会が開かれました



少年少女の部の参加者

■広報紙に掲載された写真を差し上げます。
希望する人は、市総務課（市内線2234）まで。



第15回日向木挽唄全国大会が、日向市文化交流センターで6月2日から3日まで開かれ、743人が出場しました。最後に部門別優勝者が競う優勝旗争奪戦があり、本市の椎葉孝光さん（新生町）が、仕事で通う、椎葉村までの道中に鍛えたので見事、総合優勝を果たしました。各部門ごとの入賞者は次のとおりです。（敬称略）
◇少年少女（低学年）の部
優勝 崎村杏美（南郷町）、準優勝 小田真喜子（日向市）、3位 植木 雄（日向市）。◇少年少女（高学年）の部、優勝 藤堂七美（日向市）、準優勝 小淵華子（宮崎市）、3位 寺師琴子（都城市）。◇青壮年の部（男性）、優勝 平塚一男（延岡市）、準優勝 宇賀邦雄（椎葉村）、3位 大楠守茂（福岡県）。◇実寿年の部（男性）優勝 椎葉孝光（日向市）、準優勝 菊地芳盛（日向市）、3位 松田吉十郎（南郷村）。◇青壮年の部（女性）、優勝 児玉久美（日向市）、準優勝 有田伊津美（宮崎市）、3位 瀨 英子（大分県）。◇実寿年の部（女性）、優勝 莊子照子（日南市）、準優勝 横山登美子（西都市）、3位 椎葉アサエ（日向市）。

アップルマンゴーを贈呈



塩見地区でマンゴーを生産している青年が5月18日、市長にマンゴーを贈呈しました。訪れたのは、山本孝志さん、黒木義克さん、奈須利幸さんの栽培農家3人。贈呈したのは、アップルマンゴーという品種で、主に関西方面に出荷し、贈答品として人気を得ています。西都市で研修を受けるなどの努力が実り、昨年は4トン近く出荷。山本市長は「生産規模を拡大し、ぜひ日向をマンゴーの産地に」と期待をよせていました。

天使のささやきです



宮崎県造園緑地協会（前田浩吉会長）が、市制施行50周年を記念して6月7日、はまゆうの植込鉢50鉢と種子5万粒を市に寄贈しました。「お倉ヶ浜は日本の渚100選の海岸。はまゆうをいっぱい植栽し、海辺を花いっぱいにした」と前田会長。贈呈された、植込鉢のはまゆうは「天使のささやき」と名づけられた、ピンク色の花を咲かせる新品种で、5年ほどで美しい花をつけます。

おいしかったー冷汁とだご汁



JAL杯世界アマチュア囲碁選手権戦宮崎大会が開かれた期間中に、郷土料理を味わってもらおうと、会場入口で自治公民館婦人部連合会（安部田鶴子会長）が中心となり、冷や汁とだご汁で、世界各地から訪れた選手や大会関係者などをもてなしました。外国人にはだご汁が好評で、おかわりする人も。冷や汁は地元の主婦にも大評判で「魚の風味がよく出ていて、とてもおいしい。ぜひ作り方を教えてほしい」と話していました。

速いボールもキャッチ



第1回ひまわりライオンズクラブ杯争奪小学生ドッジボール大会が6月17日、青少年ホームで開かれました。大会には10チームが参加。ドッジボールはチームワークがたいせつな競技。青少年の心身の鍛錬と健全な成長を図ることを願って開かれたものです。
速いボールをキャッチするたびに大きな声援がとび、選手たちは熱戦を展開。優勝は、ダイヤモンドボックス（黒木健二監督以下14人）でした。

情報伝言板

「情報伝言板」は、皆さんの自主的な活動を応援するコーナーです。サークル活動などの会員募集やイベントなどの情報をお寄せください。営利や政治・宗教活動を目的としたものはお断りします。

原稿は、毎月1日までに市総務課（☎内線2234）へ。ただし、紙面のスペースの関係上、掲載できない場合があります。

■ひまわりスタンプ杯塩見川釣り大会

市街地を流れる塩見川を昔のような清流にもどしたい、と「釣りバカ天国イン塩見川」を開きます。

◇開催場所=塩見川河川敷（グリーントップ日向西側）、◇参加方法=ひまわりスタンプ台紙1冊で、どなたでも参加できます。受付は7月1日（日）から先着100人、◇受付場所=フジヤカメラ（都町）、靴のカナマル（上町）、秋田屋本店（南町）へ。＊当日、お手伝いしていただくボランティアも募集しています。◇問い合わせ=日向市商店会総合事務所（☎54-3639 日高さん）へ。

■マスターズ日本一周健康リレー走者募集

健康のすばらしさを伝えるため、全国各地で計約7000キロリレーする日向地区走者を募集します。◇実施日・集合場所=10月12日（金）/寺迫バス停、午後3時出発/13日（土）市役所、午前9時、◇応募資格=30歳以上の人◇募集人数=40人、◇参加料=1人1000円、◇申込期限=8月10日（金）、◇申込先=宮崎マスターズ陸上競技連盟日向支部、郵便の場合は「住所、氏名、年齢を記入し、日向市新生町2丁目103番地 甲斐正教さん（☎52-1840）」まで。

市制施行50周年記念事業 「はばたけ！日向」～参加・連携・創造～

「市民自主企画運営事業」の紹介

■日向市歴史遺産・文化遺産フォーラム

◇日時・場所=8月31日（金）～9月1日（土）「日向ハイツ」
◇内容=市内に所在する歴史遺産・文化遺産を世界に発信し郷土の誇りを自覚するフォーラムを開催します。/8月31日【基調講演】講師=斉藤英俊（東京文化財研究所国際文化財保存修復協力センター長）、演題=「文化遺産保護・新たな展開」/9月1日【分科会】歴史・文化遺産の「現状と課題」、「活用」、「保存技術」の3分科会に分かれ実施。

◇参加者負担金=6,000円（資料代、見学会、情報交換会）

◇申し込み締め切り=7月31日（火）まで

◇問い合わせ先=日向市伝統的建造物保存修理研究会（美々津公民館☎58-1101 黒木）まで。

■市民参加モニュメント建立

◇内容=金属プレート（10cm×15cm）に各世代のメッセージや家族及び地域連携などのメッセージを30文字ほどで記載してもらい、10月に除幕予定のモニュメント本体に456枚を貼り付けます。メッセージは、市民の皆様から募集し選考します。

◇問い合わせ先=メッセージを送りたい人は8月31日までに日向青年会議所（日向市上町3-15 ☎54-5462）まで。http://www.mnet.ne.jp/~hyugajc

＊日向市のホームページでも記念事業の紹介をしています。

図書館 ア・ラ・カ・ル・ト

第4回「会えてよかった1冊の本読書感想絵はがき展」作品募集について（お知らせ）

例年、多数の応募作品が寄せられている「読書感想絵はがき展」を今年も開催します。

◇募集=①幼児の部（3歳以上）。②小学校1・2・3年の部。③小学校4・5・6年の部④中学校の部。⑤一般の部（高校生以上）の応募区分により、「官製はがき」を台紙として描いた作品を募集します。◇対象となる作品=雑誌、マンガ以外で、ジャンルを問わない。◇応募資格=市内に居住または、通勤、通学または通園する人。◇応募期間=7月10日（火）～9月10日（月）◇応募・問い合わせ=市立図書館（☎54-1919）

声 VOICE

ぼくたち わたしたちの



寺原 純夫
(60歳・財光寺沖町出身)

「人が故郷」
今月号は、首都圏在住のふるさと大使に、故郷・日向市に対する思い出を寄せていただきました。

夏の甲子園大会が近づくと富島高校3年（昭和33年）の県予選、大淀高校戦を思い出す。
相手は宮崎市内の都会校で選手は強そうだし、応援席の女子生徒は皆美人に見えた。初戦ということもあり大応援団を繰り出し獅子舞もいた。一方、我が校ときたら私と友人2人の、計3人という淋しさである。当時の我校には校歌すらなかった。宮崎と日向、彼我の差は大きかった。
試合前のシートノックが始まった。これは日頃の練習の成果を披露する重要な儀式である。ところが、ノッカーの打球が待ち構えて

日向市は市制50周年。その割には歴史の深みを感じない。郊外の発展に比べ市街地が平板で「へそがないせい」かも知れない。豊かな街路樹のある「〇〇通り」に行くと、そこには何時も人がいて洒落た雰囲気がある、そんな町がいいですね。駅舎を含めた新しい町づくりの完成が待ち遠しい。
とはいえ帰省の一番の楽しみは旧友に逢えることである。少年時代の萌芽をそのまま伸ばした者、いい奴なのは何故か回り道している者、それぞれに元気づけられ帰路につく。
こんな時「故郷は山でも川でもない。本当の故郷は人だなあ」としみじみ思う。

いる野手の所へ飛ばないのだ。内野はなんとかこなしたが外野には1本も飛ばなかったではないか。当然相手校からはヤジられ、多くの時間を残してノックを打ち切った。試合はコールド負けだった。こんなもんだろうと思っていたので悔しくはなかった。それよりグラウンドに立った彼等が輝いて見えた。ノックは下手だったが本職の英語では人気のあった部長兼監督先生、お元気でおられるだろうか。9番ライトで、実戦では不思議と活躍した木村君、社会の本番でも強かったか。彼とは卒業以来一度も逢っていない。
日向市は市制50周年。その割には歴史の深みを感じない。郊外の発展に比べ市街地が平板で「へそがないせい」かも知れない。豊かな街路樹のある「〇〇通り」に行くと、そこには何時も人がいて洒落た雰囲気がある、そんな町がいいですね。駅舎を含めた新しい町づくりの完成が待ち遠しい。
とはいえ帰省の一番の楽しみは旧友に逢えることである。少年時代の萌芽をそのまま伸ばした者、いい奴なのは何故か回り道している者、それぞれに元気づけられ帰路につく。
こんな時「故郷は山でも川でもない。本当の故郷は人だなあ」としみじみ思う。

伊東康弘さん（28歳：永江）

4月に、家業を継ぐため日向に帰ってきたばかりです。街の道路が整備されていて、故郷の発展を実感します。

市内の空調設備会社で働いています。今、オートバイのツーリング仲間を募集中です。



いきいき 青春トーク

このコーナーでは、みなさんの近所の若者や職場のホープを紹介しています。紹介したい人がいる場合は、市総務課（☎内線2234）までご連絡ください。なお、自薦、他薦は問いません。ご連絡をいただいた人は、広報係が写真を撮りにうかがいます。



三尾佳子さん（20歳：西川内）

市内の病院に勤めて、2ヵ月がたちました。患者さんには笑顔で対応しています。休日は、延岡方面へよく買い物に出かけています。先日、前から欲しかった洋服を思いきって買っちゃいました。

おしらせ

身体障害者雇用継続助成金
事業主はご利用ください

事業主に雇用された後に労働災害、交通事故等により、身体障害者となった労働者の雇用を継続するため必要な作業施設・設備の設置、または整備や職場適応措置を実施した場合に、その費用の一部を助成します。

- ◇ 対象者 Ⅱ 障害等級が1級、6級または7級重複者
- 第2種 (作業施設・設備の貸借)
- ◇ 支給額 Ⅱ 賃借に要する費用の3分の2 (限度額月13万円) 3年間支給
- ◇ 対象者 Ⅱ 第1種と同じ
- ◇ 申込期限 Ⅱ 6か月以内

《重度中途障害者職場適応助成金》

職場復帰後に指導、訓練、教育、作業環境改善等の職場適応措置を実施する事業主に助成金を支給します。

- ◇ 支給額 Ⅱ 常用・月3万円 / 重度短時間・月2万円 (3年間)
- ◇ 対象者 Ⅱ 重度中途障害者 (1・2級)、45歳以上の身体障害者、重度身体障害者である短時間労働者
- ◇ 申込期限 Ⅱ 3か月以内
- ※ 申込期限の迫っている事業主は、電話でご一報ください。
- ◇ 問い合わせ Ⅱ (社) 宮崎県障害者雇用促進協会 ☎ 0985-29-9052 またはお近くの職業安定所へ。

介護する家族を支援します

- ◇ 介護用品支給事業
- ◇ 内容 Ⅱ 寝たきりの人を在宅で介護しているご家庭に、月5000円を上限として、おむつなどを現物支給します。

◇ 対象者 Ⅱ 要介護4または5に相当する在宅の高齢者を現に介護している市民税非課税世帯の家族の人。

- 家族介護慰労金支給事業
- ◇ 内容 Ⅱ 寝たきりの方を、在宅で介護保険のサービスを受けずに介護しているご家族に、慰労金として年額10万円を支給します。
- ◇ 対象者 Ⅱ 要介護4または5に相当する在宅の高齢者であって、過去1年間介護保険のサービス(年間1週間程度のショートステイの利用と住宅改修、福祉用具の給付・貸与を除く)を受けず、さらに1週間以上の入院をせず、在宅で過ごした人を介護している、市町村民税非課税世帯の家族。
- 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業
- ◇ 内容 Ⅱ 寝たきりの高齢者および身体障害者に対し、寝具類等の衛生管理のため、丸洗いおよび乾燥サービスを行います。利用料は無料です。
- ◇ 対象者 Ⅱ 老衰、心身の障害、疾病などの理由により床に臥している高齢者および

児童扶養手当の請求
現況届をお忘れなく

児童扶養手当の受給には、現況届の提出が必要ですが、現況届は、受給者の前年の所得の状況と、8月1日現在の児童の養育の状況を確認するためのものです。

- この届を提出しない場合、引き続き受給資格があっても8月分以降の手当てを受けることができませんので、必ず期間内に提出してください。
- 現況届を提出せず、2年が経過すると時効となり、受給権を失いますのでご注意ください。
- ◇ 対象者 Ⅱ 現在児童扶養手当を受けている人で、所得超過のため、現在手当が支給されていない受給資格者も含みます
- ◇ 受付期間 Ⅱ 8月13日(月)～9月10日(月)

7月の相談

- ◇ 交通事故巡回相談
とき 7月13日(金) 10:30～14:30
- ◇ 法律相談(要予約)
とき 7月12日(木) 10:00～15:00
- ◇ 年金巡回相談
とき 7月10日(火) 10:00～15:00
- ◇ 心身障害者相談
とき 7月9日(月) 10:00～12:00
- ◇ 市民の声ポスト
市は、市政に対するみなさんのご意見・ご要望等をお聞きするため、市民の声ポストを庁舎玄関に備え付けています。どうぞ、ご利用ください。なお、質問者に直接回答する場合は、必ず住所・氏名・連絡先等を明記してください。

7月の納期

国民年金保険料	7月分
市県民税	第1期
固定資産税	第2期
国民健康保険税・介護保険料	第1期・第2期

この社会あなたの税が生きている

放送大学で学びませんか

放送大学は、テレビやラジオで大学教育を行なっている、国が設置した正規の通信制4年制大学です。目的や興味に応じて1科目から学べるほか、所定の単位を修得すると、学士(教養)の学位が取得できます。

また、各種国家試験の受験資格が得られたり、1次試験が免除になったりします。授業は、ビデオテープやオーディオテープ、CDデジタル放送で視聴することができます。

- ◇ 募集学生 Ⅱ 全科履修生(卒業を目指す学生)、選科履修生(1年間在学する学生)、科目履修生(1学期間「6ヶ月」在学する学生)
- ◇ 開設授業科目 Ⅱ 人文・社会・自然・産業などの幅広い分野の約320科目
- ◇ 入学科 Ⅱ 全科履修生 / 20000円、選科履修生 / 7000円、科目履修生 / 5000円、ただし、市民については、入学科を半額助成します。
- ◇ 授業料 Ⅱ 1単位当たり4500円(教材費込み)
- ◇ 受付期間 Ⅱ 6月15日(金)～8月15日(水)
- ◇ 資料請求・問い合わせ先 Ⅱ 放送大学宮崎学習センター ☎ 53-1893

あなたとわたしの男女共同社会

青少年ホーム3階に開設されていましたが、男女共同参画社会づくり推進ルームは7月1日から文化交流センター・レストラン跡を改装し、移転します。推進ルームは談話コーナー、座敷、コピー機、印刷機などの作業室、活動団体用のロッカー、パソコン室、会議室などを設置しています。ここは学習啓発、交流や相談等男女共同参画の視点に立った、地域づくり、情報発信の拠点施設です。利用につきましては、市企画課 ☎ 内線 2220) までご連絡ください。

税金一口メモ

たばこ税について
たばこ税は、250円のたばこ1箱に、国税54,32円、県税17,36円、市税53,36円が課税されており、日向市のたばこ税の平成12年度取入は3億8500万円となっています。市たばこ税は、たばこを買った小売販売業者の所在する市町村に納入されることになっています。たばこを吸われる人は、できるだけ市内の小売販売業の店で、買っていただきますよう、よろしくをお願いします。

ねんきん何でもQ&A

Q. 年金の情報を取得するにはどのようなものがありますか。
A. 主なものは、ラジオ、インターネット、広報紙(ねんきんみやぎ)などがあります。

- 《ラジオ》
◇ FM宮崎 フライデートーク 毎週金曜日 9:40～
- 《インターネット》
◇ 厚生労働省ホームページの社会保険庁コーナー <http://www.sia.go.jp/>
- ◇ 日向市ホームページ <http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/>

7月19日に入港します。

一般公開と体験航海のお知らせ

海上自衛隊では訓練支援艦「くろべ」が7月19日(木)午後1時、細島港に入港することに併せて一般公開および体験航海を行います。

◇日程 7月20日(金)、21日(土)

◇時間 一般公開 午前9時～11時 / 体験航海 午後1時～3時

◇問い合わせ 自衛隊宮崎地方連絡部日向募集事務所 (☎52-6914)

プール・海水浴場の監視員を募集します

《大王谷市営プール》

◇募集人員 10人

◇賞金 日額5700円

◇資格 18歳以上の健康で泳ぎに自信のある人(高校生を除く)

◇監視時間 午前9時30分～午後7時30分

◇申込方法 日向市公共施設管理公社に備え付けの申込用紙に履歴書及び承諾書(未成年者のみ)を添えて

日向市公共施設管理公社 (☎54-7174) に提出してください。

◇申込期限 7月10日(火)《海水浴場》

◇募集人員 12人

◇賞金 日額6000円

◇資格 高校3年生以上の健康で泳ぎに自信のある人

◇監視場所 御針ヶ浦、伊勢ヶ浜、お倉ヶ浜の各海水浴場

◇監視期間 7月20日(金)～8月31日(金)

◇監視時間 午前8時30分～午後5時

◇申込方法 市商工観光課に備え付けの申込用紙に履歴及び承諾書(未成年者のみ)を添えて、同課(☎内線2635)へ提出してください。

◇申込期限 7月10日(火)

※申込者多数の場合は、抽選とします。

◇募集期間 8月1日(水)～8日(水)

市営住宅の入居者を募集します

入居者募集のお知らせ

◇募集住宅 ①新財市住宅、2DK4戸、3DK8戸、②美々津駅前住宅/2



新財市住宅

DK3戸(内身障者向1戸)、3DK8戸

◇申込資格 ①市内に居住または勤務し、現在住宅に困っている人、②現に同居または同居しようとする親族(婚約者を含む)がある人。

◇収入基準 入居者および同居親族の過去1年間の所得月額が20万円以下であること。

◇入居者決定方法 有資格者による公開抽選(8月下旬)

◇入居日 9月3日(月)

◇申込方法 ①申込書、住民票謄本、②平成13年度分の所得証明書、給与収入者は過去1年間の給与収入証明書、自営業者は過去1年間の月別収支内訳書を市建設課へ提出してください。

◇問い合わせ 市建設課管理係 (☎内線2352)

NHK・フオーク大集合がやってきます

NHK衛星第2テレビで放送している「フオーク大集合」が本市にやってきます。番組の公開録画を、8月2日(木)午後6時40分から日向市文化交流センターで開きます。

番組内容は、歌手の南こうせつ、白井貴子、THE D E L T A W I N G (尾崎亜美、小原礼、鈴木茂)高田渡をゲストに招いての、アコースティックライブステージと楽しいトークで、フオークとニューミュージックの魅力をつぶりお届けする番組です。

◇申込・問い合わせ 1人1枚の官製往復はがきに7月19日(木)必着で、①氏名、②住所、③電話番号、を記入し、「〒880-8633宮崎市江平西2-15、NHK宮崎放送局『フオーク大集合』係」まで申し込んでください。応募者多数の場合は抽選となります。詳しくは、NHK宮崎放送局(☎0985-3218124)へ。

市制施行50周年記念事業 鑑定してみませんか

市では、市制施行50周年記念イベントとして、テレビでおなじみの「開運!なんでも鑑定団」の出張鑑定大会「IN日向」のテレビ収録を行います。鑑定してもらいたい物がある人は、どしどし応募してください。

ただし、鑑定は書類審査合格者だけで、それ以外の当日持ち込みはできません。

◇収録日時 10月13日(土)午後2時～4時

◇場所 日向市文化交流センター

◇提出書類 ①依頼品の写真(全体、拡大したもの)、印章、銘、落款など判断材料になるもの、②由来や思いを書き添えたメモなど、③住所、氏名、年齢、連絡先、④本人評価額

※提出書類は返却しません。(合格者のみ通知)

◇対象 県内在住者

◇締切 7月31日(火)

◇申込・問い合わせ 市企画課「なんでも鑑定団」担当係 (☎内線2216) へ。

市職員を募集します

平成13年度市職員採用試験

市は、来年3月末の退職者等の補充のために、市職員を次のとおり募集します。

◇採用予定職種 一般事務・保育士及び現業(いずれも若干名)

◇受験資格 一般事務/昭和49年4月2日以降に生まれた者(高等学校卒業程度の一般教養を有すること)、保育士/昭和49年4月2日以降に生まれた者(保育士の資格を有すること、または、平成14年3月31日まで

に資格取得見込みであること)、現業/昭和49年4月2日以降に生まれた者(①高等学校卒業程度の一般教養を有すること、②業務に耐えうる体力を有すること)。

◇欠格事項 次のいずれか一つに該当する者は、受験できません。①日本国籍を有しない者(保育士および現業は除く)。②成年被後見人及び被保佐人。③禁こ以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、または、執行を受けることなくなるとの者。④日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成

立した政府を暴力で破壊することを主張する政党、その他の団体を結成し、またはこれに加入した者。

◇第1次試験 会場/宮崎県立富島高等学校、日時/8月26日(日)午前8時30分

◇試験科目 一般事務/一般教養、保育士/一般教養・専門、現業/一般教養・体力

◇受験申込書の請求 受験申込書は、市職員課で7月5日(木)から交付します。郵便で請求する場合は、封筒表に「採用試験申込書請求」と朱書きし、90円切手を貼ったあて先明記の返信

用封筒を同封のこと。

◇受付期間 7月5日(木)から7月31日(火)までの午前8時30分から午後5時まで(土・日曜日、祝祭日を除く)。郵送の場合は、7月31日の消印まで有効(封筒の表に「採用試験申込」と朱書きのこと)。

◇申込・問い合わせ 市職員課(〒883-8555、日向市本町10番5号/☎内線2272・2273)

市立図書館から募集とお知らせ

夏休み期間中の行事

《募集》

①図書館ボランティア養成講座「子どもたちに本を手渡すボランティア講座」

◇日程 7月16日、23日、30日、8月6日、20日(各月曜日)。

◇募集締切 7月10日(月)

《お知らせ》

②夏休み子ども学習会

◇日程 8月7日(火)～10日(金)の4日間。習字、絵画、工作など企画中です。

◇募集締切 7月27日(金)

詳しくは、市立図書館(☎54-1919)へ。

今年7月15日決行! 日豊海岸クリーン大作戦

日豊海岸のすばらしい自然は、私たち市民すべての財産です。この自然を守り、後世に受け継いでいくために「日豊海岸クリーン大作戦」と題した清掃作業を7月15日、実施します。

このクリーン大作戦は、市内各種団体の協力のもと平成4年から実施している市民参加の運動で、市内全域の海岸を対象として作業を行ってきましたが、今回から作業対象範囲を広げ、河川の清掃も実施します。

私たちの財産を守り「ごみを捨てない」「ごみを捨てさせない」運動を展開するためにも、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

当日使用のごみ袋と軍手は、市で用意します。市民の皆さんは、午前7時に集合場所へお集まりください。小雨決行ですが、雨天中止の場合は、7月22日に順延します。

日豊海岸クリーン大作戦各地区集合場所

集 合 場 所	割 当 地 域
向江ヶ浜・製錬所横海岸	梶木
庄手川	庄手、日向台、大王谷
亀崎川(後田橋より上流)	花ヶ丘、迎洋園、北町1
亀崎川(後田橋より下流)	亀崎中、鶴町、亀崎東、向江町
牧島山先崎駐車場	楠浦
平場・御針ヶ浦海水浴場	鶴島全区
グリーンパーク東側駐車場	新町全区
伊勢ヶ浜海水浴場北側駐車場	日知屋本郷(橋を越く)
亀見川(線間橋から朝日橋まで)	塩見全区
新高川	新高全区
お倉ヶ浜有料道路料金所下	住吉、川路、比良、山下、長江
赤岩川河口	赤岩台、新山、鶴島山1、鶴島山2、新山
旧民船船前広場	本郷
お倉ヶ浜海水浴場駐車場	鶴
美砂公民館下浜	美砂
笹野東公民館	笹野東
南日向公民館	笹野中
民権浜御前下浜	笹野西
金ヶ浜ドライブイン	金ヶ浜、嶋毛、梶木
サンパーク駐車場	塩見
権現崎駐車場	草壁、飯谷
美々津新町前の浜	新町、立石、石並、別府、余瀬、田の原
美々津中学校下河原	駅通り
元し原処理場跡	宮の下、高松、落鹿

◇問合せ先=市環境整備課 (☎53-2256) へ。



河野慶吾くん
夏樹・祐子(松原)



奈須悠希くん
正平・美香(往還)



今村紗弥加ちゃん
幸治・陽子(永江)



黒木真帆ちゃん
陽一・千秋(高松)



河野太智くん
智行・里美(庄手)

乳幼児健診

- 3か月児健診=日時/7月13日(金)、27日(金)、対象/平成13年4月生まれ
 - 7か月児健診=日時/7月18日(水)、対象/平成12年12月生まれ
 - 1歳児健康相談=日時/7月10日(火)、対象/平成12年6月生まれ
 - 1歳6か月児健診=日時/7月12日(木)、対象/平成11年12月生まれ
 - 3歳児健診=日時/7月6日(金)、対象/平成9年12月生まれ
- ※受付時間は、3か月児・7か月児/午後1時～1時30分、1歳6か月児・3歳児/午後1時～2時、1歳児/午前9時30分～10時です。母子健康手帳を忘れずに、市民健康管理センターへ。

すくすく教室

- ◇日時=7月24日(火)午後2時～午後3時30分
- ◇対象=生後6か月までの乳児を育児中のお父さん、お母さん
- ◇内容=①栄養士との離乳食作り・試食、②体重測定・身長測定、③赤ちゃんの健康相談、④ママやパパ同士の交流会など

- ◇会場=市民健康管理センター
- ◇持参するもの=母子健康手帳
- ※予約・参加料は、必要ありません。

すくすく教室OB(ネーミング募集中)

- 市は、生後6か月以降の乳幼児と保護者の仲間づくりの場所として、市民健康管理センターを開放しています。
- ◇日時=毎週火曜日午後2時～3時30分
- ◇対象=生後6か月以降の乳幼児と保護者
- ◇内容=自主的な交流会

パパママ教室

- ◇日時=7月1日(日)、15日(日)午前10時～12時
- ◇対象=出産を迎えるパパとママ
- ◇内容=赤ちゃんのおふろの入れ方、妊娠疑似体験、妊娠中の歯の管理(歯科医師・歯科衛生士)、パパとママのための栄養の知識など
- ◇会場=市民健康管理センター
- ◇申込方法=開催日の1週間前までに氏名、連絡先を市民健康管理センターまでご連絡ください。

ヘルシークッキング

せん切り大根中華風サラダ

<材料4人分>

- せん切り大根 120g
- ひじき(乾燥) 12g
- かいわれ大根 40g
- かにかまぼこ 40g
- 砂糖 小さじ2
- 酢 大さじ2
- しょうゆ 大さじ1.5
- ごま油 大さじ1

1.大根はもどしてゆがく
ひじきも同じようにする

2.かいわれ大根は根を取り半分に切る

3.かにかまぼこはほぐす

4.調味料をあわせる

5.1～3を4と混ぜる

エネルギー42Kcal
塩分0.8g
(1人分)

食中毒を防ぐ、ここがポイント

- 食中毒は、特に6月から急に発生数が増え、やや涼しくなる10月そのピークが続きます。
- ①新鮮なものを選んで買ひましょう。
- ②すぐ冷蔵庫、冷凍庫に保存しましょう。
冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫は-15℃以下
- ③手を流水でよく洗ひましょう。
包丁やまな板は肉や魚を切った後に一度熱湯で洗うこと。
ラップしてある野菜も良く洗ひましょう。
- ④食品の中心部を75℃で1分以上加熱を。
凍結している食品を室温で解凍するのは危険。
使う分だけ解凍し、解凍したらすぐ使うこと。
- ⑤温かい料理はいつも65℃以上に、ひやして食べる料理はいつも10℃以下が目安。
- ⑥残ったものは、早く冷えるように浅い容器に小分けしましょう。
時間がたちすぎたら、思いきって捨てましょう。食中毒予防の3原則は食中毒菌を「つけない、増やさない、殺菌」です。

ボランティア募集

市では毎月1回、市民健康管理センターで実施する機能訓練教室などの行事の手伝いをさせていただく人を募集しています。やる気と時間の都合のつく人はご連絡ください。

◇申込先=市民健康管理センター(☎内線2182)

7月の献血日程

3日(火)	日向市役所	9:30～16:00
11日(水)	富士シリシア化学	9:30～11:30
	和田病院	13:00～16:00
18日(水)	日向市役所	8:30～13:00
	協和病院	14:30～17:00

24時間子育て

テレホンサービス
☎53-5857
日向市保育協議会



7/2(月)	5歳児につきやすい悪いくせ (1)おだちんをちょうだい (2)お金を使う面白さが解ってくる (3)買いくせ、ムダ使いの導き方
7/8(日)	
7/9(月)	幼児期の食事 (1)食習慣は幼児期に決まる (2)食行動と精神発達は相関関係 (3)手作りはスキップのひとつ
7/15(日)	
7/16(月)	親と子の信頼関係 (1)信頼される親になること (2)信頼される親とは、どんな親か (3)信頼される親...7つのタイプ
7/22(日)	
7/23(月)	子どもの才能を育てない親 (1)いろいろ教えること (2)知能と才能 (3)才能を発揮する性格づくり
7/29(日)	

5月中の交通事故

日向市分	() 内前月比		
人身事故	死亡	負傷者	物損事故
39件	0人	57人	100件
(-3)	(±0)	(+6)	(+1)

～止まって確認!無事故に挑戦～

日向市の人口と世帯

(H13.6.1.現在)

人口	59,038人	(+52)
男	27,759人	(+7)
女	31,279人	(+45)
世帯数	21,903世帯	(+23)
転入	216人	転出 189人
出生	71人	死亡 46人
面積	117.43km ²	

郷土の歴史

シリーズ21
日向の蛤碁石

市制施行50周年記念日向市史編さん事業

世界の囲碁人口は現在3千6百万人といわれています。近年ヨーロッパや北米に急速に普及し、全世界に愛好者が増えつつあります。世界各地で大小さまざまな大会が開かれ、碁石にはガラス、プラスチック、石や貝などが使われています。

先月、日向市文化交流センターで行われた第23回世界アマチュア



東京大正博覧会で受賞した褒状

囲碁選手権権宮崎大会には、世界56の国と地域から参加がありました。この大会では、もちろん日向市で製造された蛤碁石(黒石)は那智勝浦の黒曜石が使われました。

明治の中頃、日向の蛤が碁石の原料として、厚み、光沢、硬度など優れていることがわかり、蛤の買い付けに大阪から商人が、頻繁に訪れていました。それまでは、三重県の桑名の蛤が日本一でした。蛤を採取し商人へ売っていた中のひとり原田清吉さんは、一念発起。自ら碁石を製造しようと大阪へ修業のため旅立ちました。明治40年前後のことです。刻苦勉強、練達の碁石工となって帰郷した清吉さんが、財光寺で碁石製造を始めたのは明治の終わりの頃です。

始めは大阪の知人を頼って販売していました。各種品評会などで高い評価を得るにすぎない、原田のブランドで売れるようになりました。大正3年から4年にかけての新聞は、日向蛤碁石をしばしば紹介しています。同3年11月21日付けの日州新聞には、「碁石販

売 東臼杵郡富高村原田清吉氏製造に係る碁石五十組は今回物品陳列場に着荷し同場にて販売を開始したるが価格は一組五十銭乃至二十六圓なりと云ふ」とあります。また、同29日付では、大正元年及び2年は蛤貝の収益は5、6千円から1万円であったが、同3年には碁石の製造を行うものがあり貝の販売と併せて1万5千円になったとあります。同3年の東京大正博覧会では褒状を受賞しています。日向蛤碁石の名声が高まるにつれ、大阪での原田さんの兄弟弟子や同業者の中にも日向で製造する人が現れ、蛤碁石の生産の中心は次第に日向へと移って来ました。蛤碁石の製造が本格的になるとその経済性や乱獲の心配などから、同時期既に宮崎県や東臼杵郡の専門家による蛤の調査も行われ、貝の保護や養殖が検討されています。

今日、蛤碁石を製造しているのは世界で日向市だけです。碁石の原料としては蛤が最上質といわれています。

(参考文献)「はまぐり物語 平賀儀雄著」

市史編さん室(市内線2236)では、日向の歴史に関する皆さんからの情報をお待ちしています。

こちら編集室



今月の特集は、いかがでしたか。共感できることが少しでもありましたか。「子どもは物質的に豊かな家庭より、愛情豊かな家庭を求めている」と。私もせめて月に一度は「家庭の日」を意識して、家族であたたくふれあいたいと思います。

忙しい毎日、なかなか家族と向き合う時間が取れない実感があります。でも「家族とは心の絆で結ばれている」と信じてがんばっているのです。一方的にです。

(K)

広報ひゅうが

平成13年7月号

編集/日向市役所総務課
〒883-8555
日向市本町10番5号
☎0982-52-2111
印刷/(有)第一印刷